



企画展

# 匠の技 百花繚乱

細部に宿る日本の美



芦葉達磨像  
正阿弥勝義作

令和3年 2.13(土) - 3.28(日)

休館日 ●月曜日休館  
開館時間 ●10時～17時(入館受付は16時30分まで)  
入館料 ●一般500円 高校生300円  
小・中学生無料 友の会会員無料

◎友の会会員、学校メンバー加入団体、障がい者手帳提示の方・付添者 ▶無料  
◎団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方 ▶2割引

林原美術館  
HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

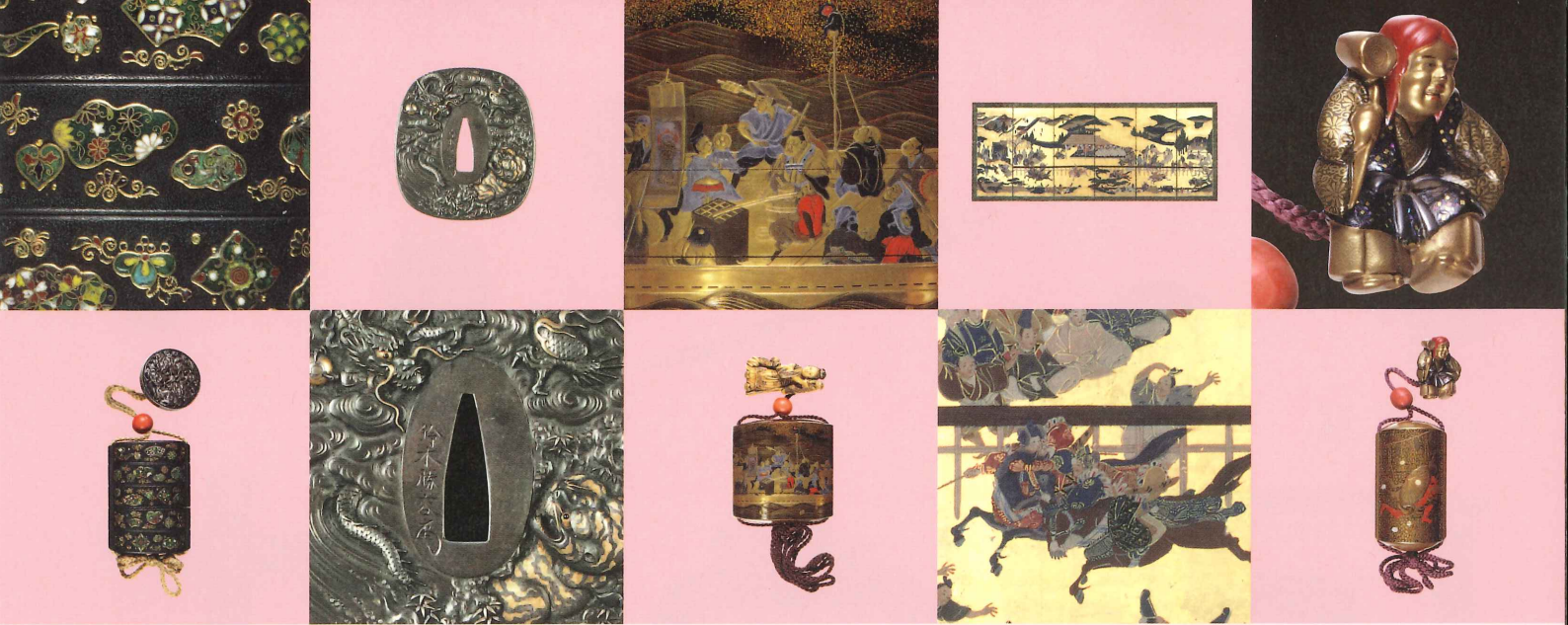
〒700-0823 岡山県岡山市北区丸の内2-7-15  
TEL (086)223-1733 FAX (086)226-3089  
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

Facebook: @hayashibara.moa Twitter: @hayashibara1964

主催 林原美術館  
後援 岡山県郷土文化財団  
山陽新聞社 RSK山陽放送







**世**界の人々を魅了する日本の美術品は、「神は細部に宿る」といわれるように、全体の造形美だけでなく、細部にまで念入りに技が行き届いています。本展では日本の伝統工芸技術の中でも金工作品を主に、拵、甲冑、印籠、刀装具、調度品など様々な作品を展覧し、こだわり抜かれた「日本の美」を三部構成でご紹介いたします。

### 第一部「伝統工芸の粋」

金工、木工、漆芸、染織などの伝統工芸の粋が込められた日本刀の拵や甲冑、印籠を展覧いたします。初代岡山藩主池田光政が幼少時所用していたとされる拵を含め岡山藩主池田家伝来の拵11口を初公開いたします。

### 第二部「五金と技法」

古来伝統工芸において黒(鉄)白(銀)赤(銅)黄(金)青(錫)の五色を「五金」と呼び、さらにそれぞれを混ぜ合わせた合金も駆使して彩り豊かな金工作品が数多く作られてきました。鉄の鍛造品である日本刀や兜、鋳造品である鏡や釜をはじめ、各金属素材から作られた工芸品を、彫金と色上げ技法とともに御覧いただけます。

### 第三部「画題の広がり」

禅画の「芦葉達磨」や日本の代表的な風景である「富士山」をはじめ、鶴や鶉、虎といった縁起物動物、古今和歌集や俳句の世界観など、様々な画題をもとに製作された刀装具を書画や置物とともに展覧し、知識階層だけでなく世間一般の人々にも広まった文化と造形化への諸相をご紹介します。

眼の届きにくいところまで丁寧な仕事を施す職人たちは、技法や材料へのこだわりだけでなく、文物への眼差しによる確かな技術が培われてきました。矜持をもって製作する職人の心意気を感じ、精緻な「匠の技」をご堪能いただけたら幸いです。



芦葉達磨図 徳川綱吉 江戸時代



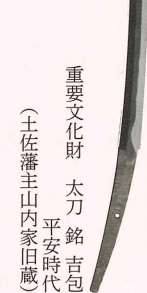
金梨子地塗揚羽蝶散時絵鞘小き刀拵 江戸時代 池田光政幼少時所用



四君子図小柄 加納夏雄 明治時代



鉄錆地打出総面類 明珍宗察 江戸時代



重要文化財 太刀銘 吉包 (土佐藩主山内家旧蔵) 平安時代

## 関連行事

### ギャラリートーク

会期中の土曜日14時から(約30分)学芸員によるギャラリートークを行います。

※お申込みは不要で、当日自由にご参加いただけます。

### 【特別講演会】 「職人のこだわりと遊びどころ」

2/21(日) 13時30分～15時

本展に関連した講座として、精緻な工芸品の中に見つけた職人たちの「こだわりと遊びどころ」についてお話をさせていただきます。

講師●末兼俊彦氏(京都国立博物館 研究員)  
場所●林原美術館内ロビー 定員●60名(要予約)  
参加費●友の会会員500円、一般600円(入館料別途・2割引)

### 【関西大学・林原美術館 公開講座】

### 「池田綱政の和歌交流―広島藩・浅野綱晟の場合―」

3/14(日) 13時30分～15時

当館では関西大学との共同研究により、岡山藩主池田家ゆかりの和歌や書に関する資料の調査を進めてきました。本講座は、それらの調査・研究によって得られた新たな知見や資料の重要性など、専門の先生方に解説いただく公開講座となっております。

講師●福留瑞美氏(関西大学非常勤研究員) 場所●林原美術館内ロビー  
定員●60名(要予約) 参加費●不要(入館料別途・2割引)

開催予定のイベントについて、新型コロナウイルス感染等の状況により、開催内容の変更、延期もしくは中止となる場合がございますので、事前に当館ホームページ等でご確認をお願いいたします。

## 次回予告

企画展「遠・近・共・愉 旅の風景」  
令和3年4月8日(木)～6月20日(日)

旅を友とする文人や絵師が描いた名所の絵と共に、藩主が残した旅日記など旅にまつわる作品を展示。あわせて岡山県立岡山芳泉高等学校の美術部の皆さんの、現代の風景画もご覧いただけます。

# 林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

### 交通

- JR岡山駅から徒歩25分
- 路面電車〔東山行〕県庁通下車徒歩7分
- 岡電バス〔岡電高屋行〕県庁前下車徒歩3分
- 宇野バス〔瀬戸駅前行・四御神行〕県庁前下車徒歩3分
- 循環バスめぐりん〔県庁医大線〕県庁前下車徒歩3分

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15  
TEL (086) 223-1733 FAX (086) 226-3089  
http://www.hayashibara-museumofart.jp  
\*車椅子対応の設備あります。

【臨時休館について】「暴風警報」「特別警報」が発令されている場合は、臨時休館とさせていただきます。詳細は当館ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

【ご来館の皆様へのお願い】当館では、新型コロナウイルスの感染拡大の防止に向けて各種取り組みを行っておりますが、加えて、ご来館の皆様には、マスクの着用、手指の消毒、両手を広げてお互いが触れない距離の確保、静かな観覧などの厳守をお願いいたします。詳細は当館ホームページをご覧ください、ご来館の際には館内の掲示や館員の指示に従ってください。

